インクジェットプリンター

ユーザーズガイド
プリンターの使い方編

NPD4814-00

もくじ

はじめに

操作部の名称と働き

印刷用紙とセット方法

メンテナンス

困ったときは

付録

はじめに

マニュアルについて

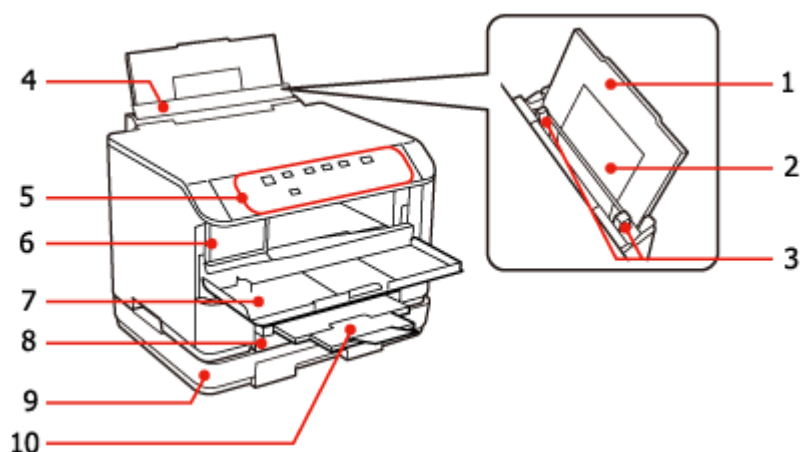
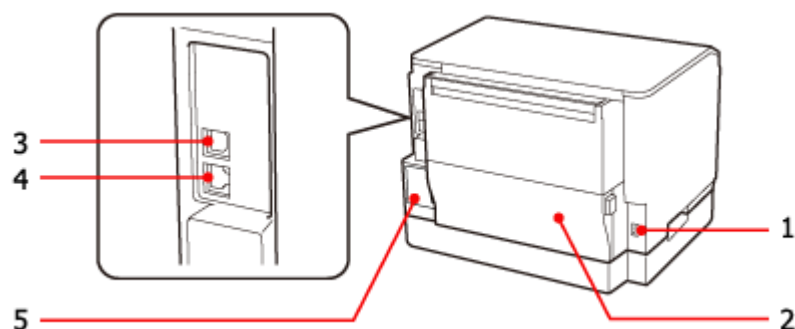
記号の意味

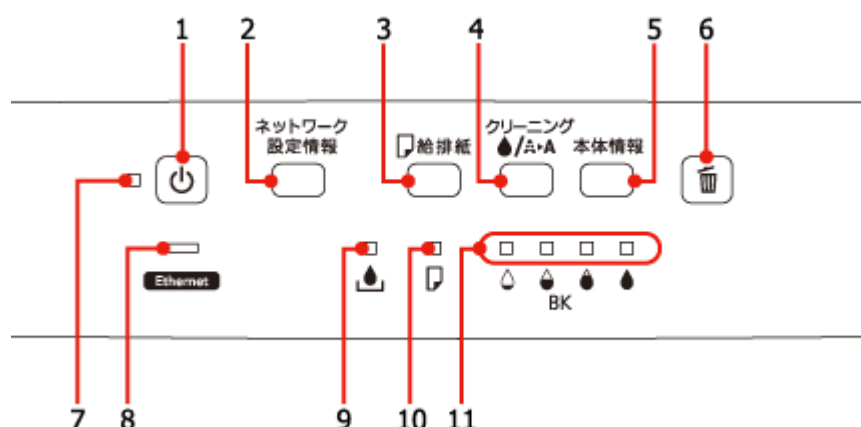
マーク	内容
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足情報や参考情報を記載しています。
	参照（ガイド内） 関連したページへジャンプします。
	参照（ページ内） ページ内の項目へジャンプします。
【　】	ボタン名を示します。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

操作部の名称と働き

本体

名称		働き
1	用紙サポート	セットした用紙を支えます。
2	背面 MP トレイ	印刷用紙をセットします。対応する全ての用紙がセットできます。 ➡「用紙のセット方法」11 ページ
3	エッジガイド	用紙をまっすぐ給紙するためのガイドです。用紙の側面に合わせて使用します。
4	給紙口カバー	異物が内部に入り込まないようにします。
5	操作パネル	➡「ボタン / ランプ」6 ページ
6	インクカートリッジセット部	インクカートリッジをセットするところです。
7	前面カバー	インクカートリッジを交換するときや、詰まった用紙を取り除くときに開けます。 ➡「詰まった用紙の取り除き方」28 ページ
8	用紙カセット 1	印刷用紙をセットします。A5 サイズ以上の普通紙のみセットできます。 ➡「用紙のセット方法」11 ページ
9	用紙カセット 2（増設カセットユニット / オプション）	印刷用紙をセットします。B5 サイズ以上の普通紙のみセットできます。 ➡「用紙のセット方法」11 ページ 増設カセットユニットの取り付け方法は、以下のページをご覧ください。 ➡「増設カセットユニット（オプション）の取り付け」16 ページ
10	排紙トレイ	印刷された用紙を保持します。3 段全て引き出してお使いください。 トレイ先端のストッパーで用紙の飛び出しを防ぎます。

名称		働き
1	電源コネクター	電源コードを接続します。
2	背面ユニット	詰まった用紙を取り除くときに取り外します。 ➡「詰まった用紙の取り除き方」28 ページ
3	USB コネクター	USB ケーブルを接続します。
4	LAN ケーブル用コネクター	有線 LAN でネットワーク接続するときに LAN ケーブルを接続します。
5	メンテナンスボックス	廃インクをためる容器です。

ボタン / ランプ

ボタンは【 】で表します（この項以外では、【電源】ボタンを【電源】と記載）。プリンターのランプ表示の詳細は以下のページをご覧ください。

➡「ランプの表示」32 ページ

名称		働き
1	【電源】ボタン	本製品の電源を入 / 切します。
2	【ネットワーク設定情報】ボタン	• ネットワークステータスシートを印刷します。 ➡『ネットワークガイド』（電子マニュアル）-「ネットワーク接続の確認」 • このボタンを押したまま電源を入れると、ネットワーク設定を購入時の設定に戻せます。
3	【給排紙】ボタン	用紙を給排紙します。通常は自動で給排紙されるため、このボタンを押す必要はありません。
4	【クリーニング】ボタン	• ヘッドクリーニングを行います。 • このボタンを押したまま電源を入れると、本製品の動作確認（ノズルチェックパターン印刷）が行えます。
5	【本体情報】ボタン	プリンター本体のステータスシートを印刷します。
6	【キャンセル】ボタン	印刷中に押すと、印刷を中止して排紙します。
7	電源ランプ	電源を入れると、しばらく点滅した後、点灯します。データ処理中、インクカートリッジ交換中などに点滅します。
8	NW ランプ	ネットワークが有効時に点灯します。データ通信中、ネットワーク設定初期化中などに点滅します。
9	メンテナンスランプ	メンテナンスボックスの交換が必要になったときや、空き容量が少なくなったときに点灯 / 点滅します。

名称		働き
10	用紙ランプ	紙なしや紙詰まりが発生したときに点灯 / 点滅します。
11	インクランプ	インクカートリッジの交換が必要になったときや、インクが残り少なくなったときに点灯 / 点滅します。

印刷用紙とセット方法

印刷用紙

印刷できる用紙

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙（純正品）のご使用をお勧めします。セット可能枚数を超えてセットしないでください。以下は 2012 年 7 月現在の情報です。

ドライバーでの設定は以下をご覧ください。
➜ 『ユーザーズガイド（本編）』-「印刷」-「印刷できる用紙と設定」

エプソン専用紙（純正品）

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">用紙名称</th><th rowspan="2">対応サイズ</th><th colspan="3">セット可能枚数</th><th rowspan="2">印刷できる面</th></tr>
<tr><th>背面 MP トレイ</th><th>用紙カセット 1</th><th>用紙カセット 2</th></tr>
<tr><td>普通紙</td><td>両面上質普通紙＜再生紙＞</td><td>A4</td><td>50 枚※</td><td>200 枚</td><td>200 枚</td><td>両面</td></tr>
</table>

※　片面に印刷済みの用紙は 20 枚まで。

市販の用紙

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">用紙名称</th><th rowspan="2">対応サイズ</th><th colspan="3">セット可能枚数</th><th rowspan="2">印刷できる面</th></tr>
<tr><th>背面 MP トレイ</th><th>用紙カセット 1</th><th>用紙カセット 2</th></tr>
<tr><td rowspan="5">普通紙</td><td rowspan="5">コピー用紙
事務用普通紙</td><td>A4、B5、Letter</td><td rowspan="3">80 枚※ 1</td><td>250 枚</td><td>250 枚</td><td>両面</td></tr>
<tr><td>A5</td><td>250 枚</td><td>-</td><td rowspan="4">両面※ 2</td></tr>
<tr><td>A6</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>Legal</td><td>1 枚</td><td>250 枚</td><td>250 枚</td></tr>
<tr><td>ユーザー定義サイズ</td><td>1 枚</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>厚紙</td><td>厚紙</td><td>A6、B5、A5、A4、Legal、Letter、ユーザー定義サイズ</td><td>10 枚※ 3</td><td>-</td><td>-</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">ハガキ※ 4
※ 5</td><td>郵便ハガキ</td><td>ハガキ</td><td>30 枚</td><td>-</td><td>-</td><td rowspan="2">両面※ 2</td></tr>
<tr><td>往復ハガキ</td><td>往復ハガキ</td><td>15 枚</td><td>-</td><td>-</td></tr>
</table>

	用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			印刷できる面
			背面 MP トレイ	用紙カセット 1	用紙カセット 2	
封筒	封筒	長形 3 号、4 号	10 枚	-	-	両面※ 2
		洋形 1 号、2 号、3 号、4 号	10 枚	-	-	宛名面のみ
		角形 2 号、20 号	1 枚	-	-	両面※ 2

※ 1　片面に印刷済みの用紙は 30 枚まで。
※ 2　自動両面印刷には対応していません。
※ 3　片面に印刷済みの用紙は 5 枚まで。
※ 4　郵便事業株式会社製。
※ 5　郵便光沢ハガキ＜写真用＞は対応していません。

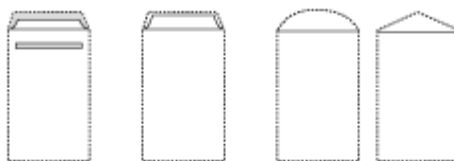
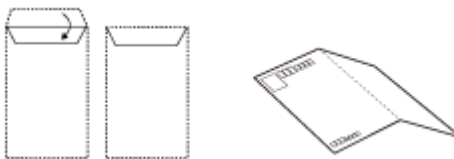
重要

背面 MP トレイは、厚さが 0.08mm ～ 0.26mm までの用紙に対応しています。この範囲内であっても硬さによっては正しく給紙されないことがあります。

印刷できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

- 波打っている、破れている、切れている、折りがある、湿っている用紙や反っている、丸まっている、シールなどが貼ってある用紙

- のり付けおよび接着の処理が施された封筒、二重封筒、窓付き封筒やフラップが円弧や三角形状の長形封筒や角形封筒

- フラップを一度折った長形封筒や一度折った往復ハガキ

- 写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキ（ただし手差し給紙のみ印刷可）

取り扱い上のご注意

- 用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項をご確認ください。
- 用紙は必要な枚数だけを取り出し、残りは用紙のパッケージに入れて保管してください。背面 MP トレイにセットしたまま放置すると、反りや品質低下の原因になります。
- 用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、側面を整えてください。

- 封筒をセットするときは、よくさばいて側面を整えてください。膨らんでいるときは平らになるように手でならし、膨らみを取り除いてください。

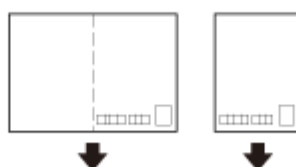
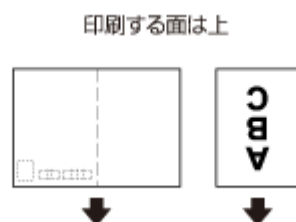
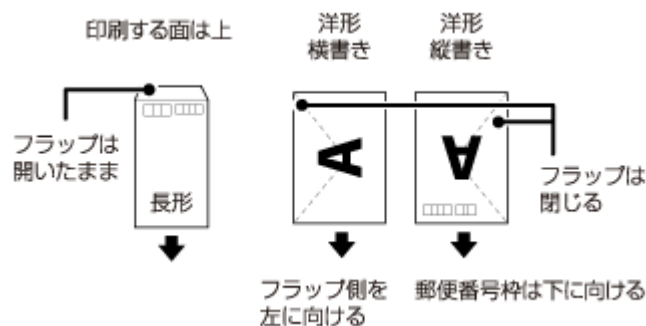
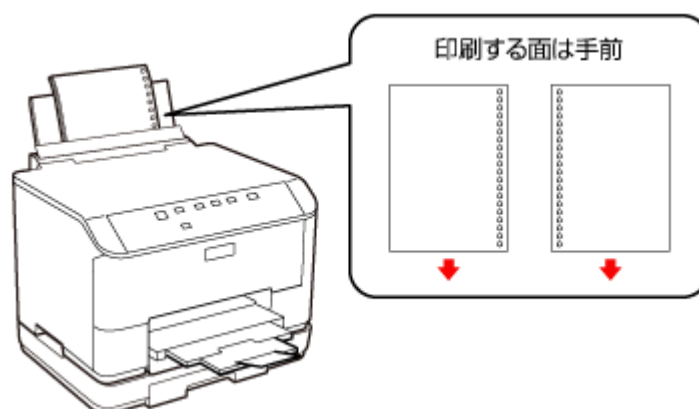
- ハガキへの両面印刷は、片面印刷後しばらく乾かし、反りを修正して（平らにして）からもう一方の面に印刷してください。宛名面から先に印刷することをお勧めします。

用紙のセット方向（背面 MP トレイ）

用紙は以下の向きにセットします。

ハガキ（宛名面）

ハガキ（通信面）

印刷する面は上

封筒（宛名面）

穴あき用紙

用紙のセット方法

背面 MP トレイに用紙をセットする向きは以下をご覧ください。

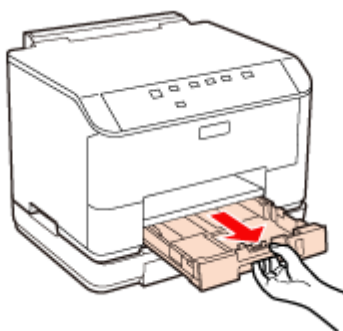
➡ 「用紙のセット方向（背面 MP トレイ）」10 ページ

背面 MP トレイには、対応している全ての用紙がセットできます。用紙カセットには普通紙のみセットできます。
詳しくは以下のページをご覧ください。
➡「印刷できる用紙」8 ページ

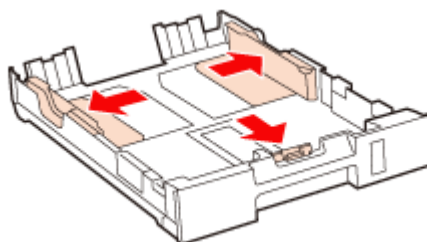
用紙カセット

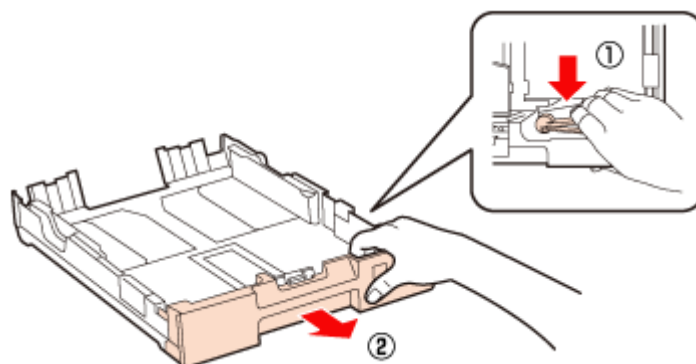
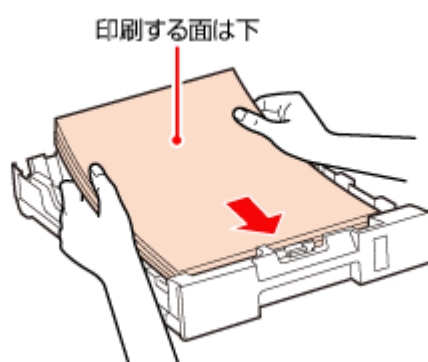
参考

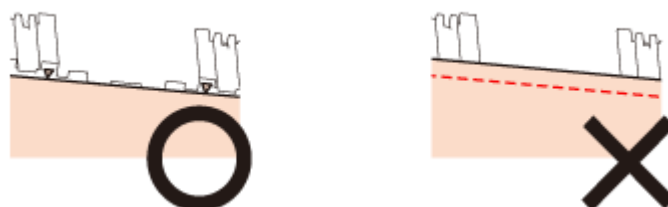
- 用紙カセット 1、用紙カセット 2 とも印刷用紙のセット方法は同じです。
- 排紙トレイが引き出されているときは、排紙トレイを元の位置に戻してからセットしてください。

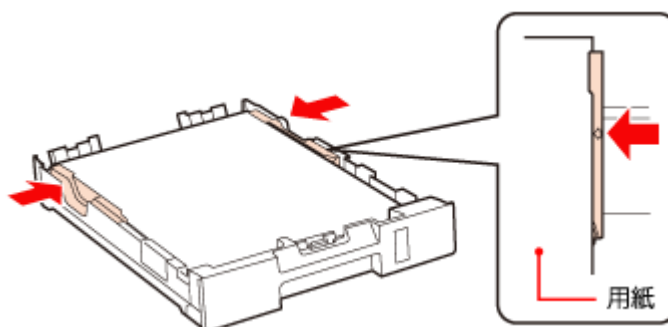
1. 用紙カセットを持ち上げて抜きます。

重要

プリンターの動作中に、用紙カセットを抜き差ししないでください。

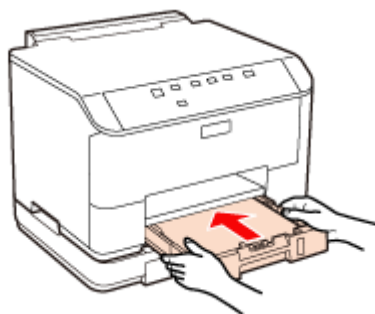
2. エッジガイドを広げて、用紙サイズに合わせます。

参考

Legal サイズの用紙をセットするときは、用紙カセットを引き伸ばしてからエッジガイドの位置を調整してください。
図のように、右手で①を押したまま手前に引くと用紙カセットを引き伸ばすことができます。

3. 手前のエッジガイドに合わせて用紙をセットします。

参考

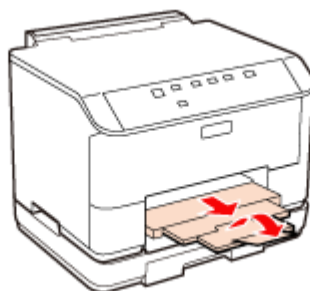
用紙はカセット先端の線を超えないようにセットしてください。

4. 用紙の両端にエッジガイドを合わせます。

参考

用紙はセット可能枚数を超えないようにしてください。

➡「印刷できる用紙」8 ページ

5. 用紙カセットをゆっくりセットします。

参考

用紙カセット 1 と 2 を入れ替えてセットすることはできません。

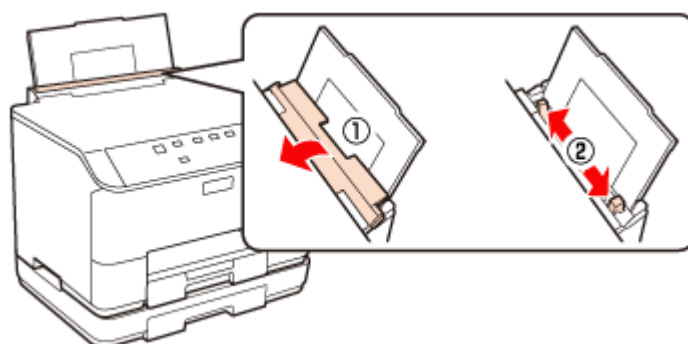
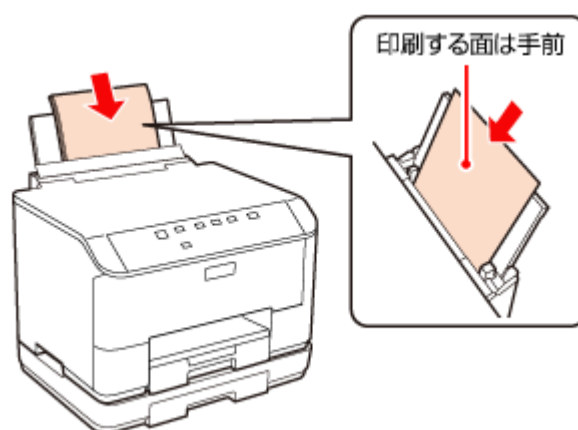
6. 排紙トレイを引き出します。

7. セットした用紙に合わせて［給紙装置の用紙サイズ設定］を設定します。

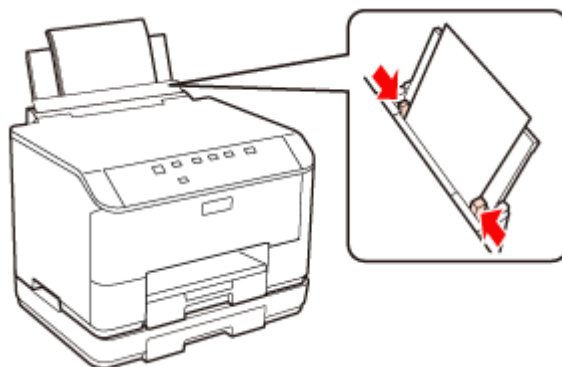
➡『ユーザーズガイド（本編）』-「印刷」-「プリンターの設定」

以上で終了です。

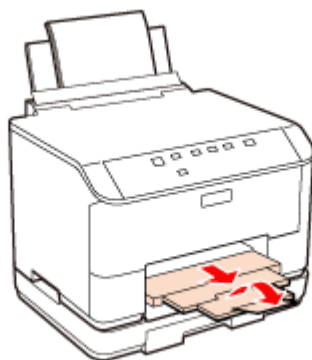
背面 MP トレイ

1. 用紙サポートを引き出します。

2. 給紙口カバーを開き、エッジガイドを広げます。

3. 用紙を縦長にセットします。

4. 用紙の両側にエッジガイドを合わせます。

参考

用紙はセット可能枚数を超えないようにしてください。

➡「印刷できる用紙」8 ページ

5. 排紙トレイを引き出します。

6. セットした用紙に合わせて［給紙装置の用紙サイズ設定］を設定します。

➡『ユーザーズガイド（本編）』-「印刷」-「プリンターの設定」

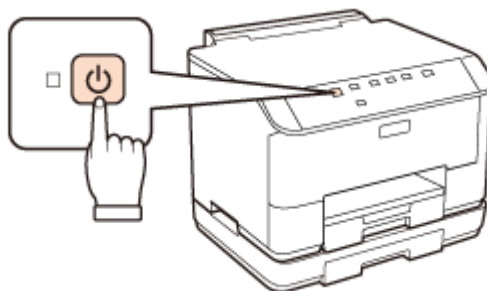
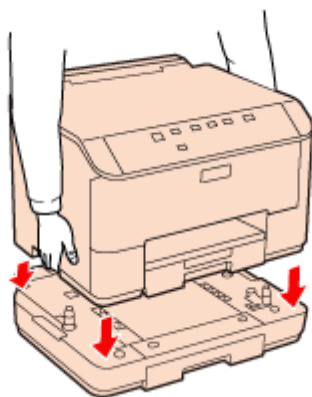
以上で終了です。

増設カセットユニット（オプション）の取り付け

オプションの増設カセットユニットの取り付け方法を説明します。

注意

作業は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、全ての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

1. 【電源】を押し、電源を切ります。

2. 本体に取り付けているコードを全て取り外します。
3. 増設カセットユニットを箱から取り出します。
4. 増設カセットユニットの保護テープや保護材を全て取り外します。
5. 本体と増設カセットユニットを図のように合わせます。

6. 取り外したコードを再接続します。
7. 【本体情報】を押し、ステータスシートを印刷して、増設カセットユニットが認識されているか確認します。

   ドライバーからも確認することができます。

   ➡ 『ユーザーズガイド（本編）』-「印刷」-「プリンターの設定」

参考

増設カセットユニットが認識されていないときは、コードをすべて取り外し手順 5 からやり直してください。

以上で終了です。

メンテナンス

インクカートリッジの交換

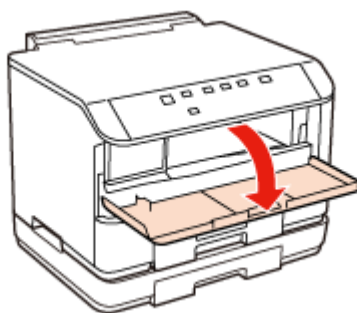
以下の型番のインクカートリッジを用意してください。
➡ 「インクカートリッジ型番」38 ページ

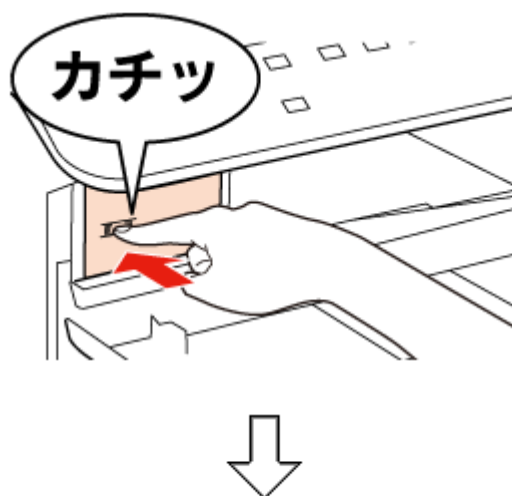
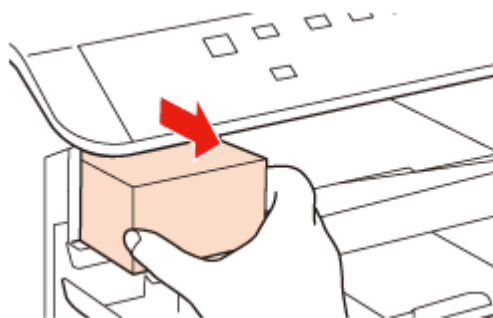
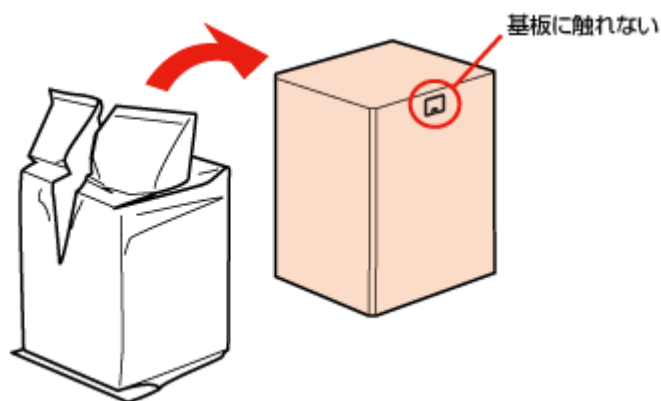
注意

交換の前に、以下の注意事項をご確認ください。
➡ 「インクカートリッジに関するご注意」20 ページ

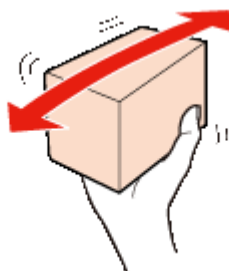
参考

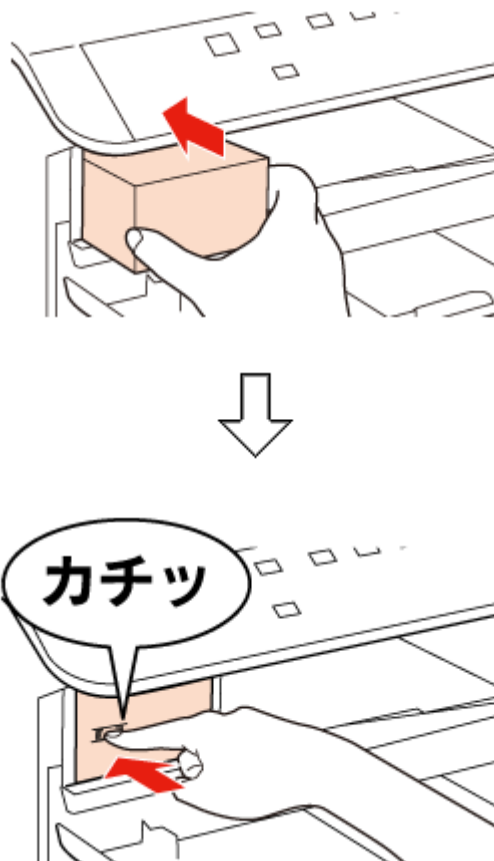
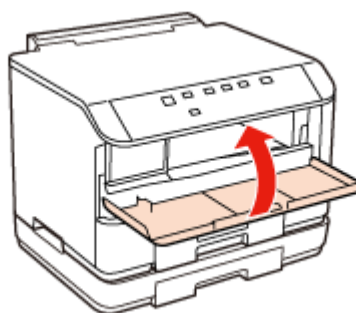
大量に印刷するときは、インク残量を確認し、事前に予備のインクカートリッジを用意してください。インク残量は、プリンターのランプ表示、またはパソコンの画面で確認できます。
➡ 「インク残量表示」33 ページ
➡ 『ユーザーズガイド（本編）』-「メンテナンス」-「プリンターの状態（インク残量 / エラーなど）確認」

1. 前面カバーを開けます。

2. 交換するカートリッジを押し、取り外します。

⇩

3. 新しいカートリッジを袋から取り出します。

重要

インクカートリッジの基板（IC チップ）には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

4. インクカートリッジを水平方向に **5** 秒間（両側約 **5cm** の振り幅で **15** 回程度）振ります。

5. 新しいインクカートリッジをセットします。

「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

6. 前面カバーを閉じます。

以上で終了です。

インクカートリッジに関するご注意

- カートリッジは常温で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。
- 良好な印刷品質を得るために、装着後は 6ヵ月以内に使い切ることをお勧めします。
- カートリッジを寒い所から暖かい所に移したときは、4 時間以上室温で放置してからお使いください。
- カートリッジの基板（IC チップ）には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。

- カートリッジを取り外した状態で本製品を放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- カートリッジは IC チップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、本製品から取り外しても再装着して使用できます。
- 使用途中で取り外したカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように保管してください。インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- カートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- カートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- カートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。

純正インクカートリッジのお勧め

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

インクカートリッジの回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。

便利でお得な「引取回収サービス」で回収リサイクル活動にご協力ください。他にも、店頭回収ポストや郵便局での回収、学校でのベルマーク活動による回収などのサービスがあります。

回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。
➡ http://www.epson.jp/recycle/

インクカートリッジの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

ノズルチェックとヘッドクリーニング

プリントヘッドのノズルが目詰まりすると、印刷がかすれたり、スジが入ったりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェック（目詰まり確認）をしてください。

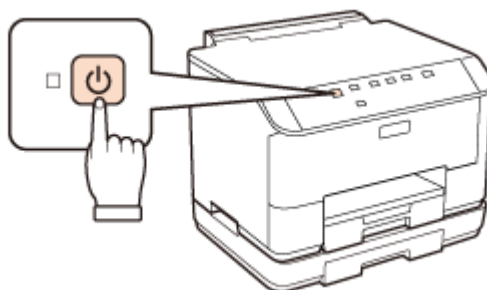
参考

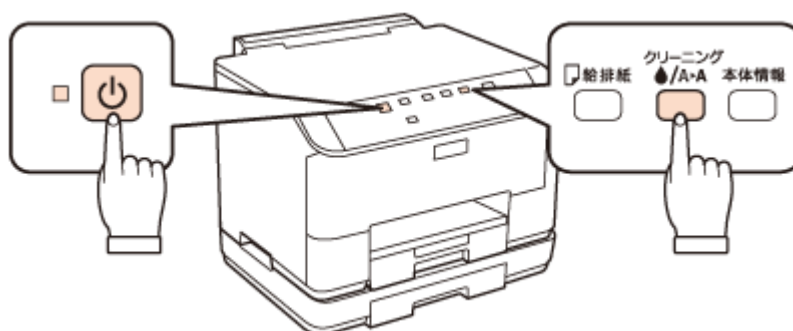
プリンタードライバーのユーティリティー画面からからも実行できます。

➡『ユーザーズガイド（本編）』-「メンテナンス」-「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

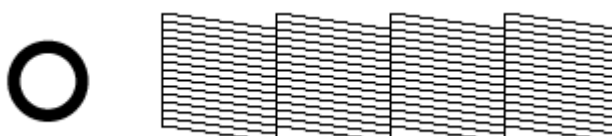
1. 用紙カセット 1 に A4 サイズの普通紙をセットします。

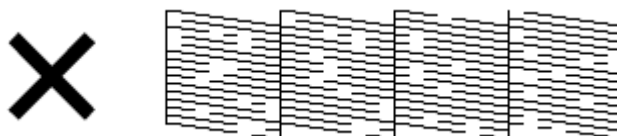
➡「用紙のセット方法」11 ページ

2. 【電源】を押し、電源を切ります。

3. 【クリーニング】を押したまま【電源】を押すと、ノズルチェックパターンが印刷されます。

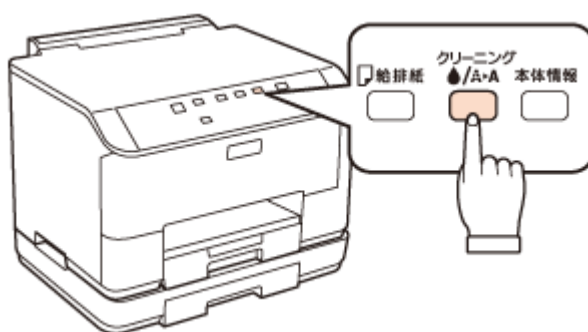
【クリーニング】と【電源】は、電源ランプが点滅したら指を離してください。

4. 印刷結果を確認します。

明るい場所で確認してください。電球色の蛍光灯などの下では、ノズルチェックパターンが正しく確認できないことがあります。

良い例：

全てのラインが印刷されている場合は、目詰まりしていません。ヘッドクリーニングは必要ありません。

悪い例：

印刷されていないラインがある場合は、手順 5 に進んでください。

5. 目詰まりしているノズルをクリーニングします。

ノズルが目詰まりしているときは【クリーニング】を押します。
電源ランプが点滅して、ヘッドクリーニングが始まります。

電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。
再度ノズルチェックパターンを印刷して、目詰まりが解消されたことを確認してください。

参考

- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 4 回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、電源を切り 6 時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。時間をおくことによって、目詰まりが解消し、正常に印刷できるようになることがあります。それでも改善されないときは、エプソンの修理窓口に修理をご依頼ください。
  ➡「お問い合わせ先」45 ページ
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることを防ぐため、電源の入 / 切は必ず【電源】で行ってください。
- プリントヘッドを常に最適な状態に保つために、定期的に印刷することをお勧めします。

以上で終了です。

メンテナンスボックスの交換

メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクをためる容器です。いっぱいになると、ボックスを交換するまで印刷できません（インクあふれ防止のため）。
メンテナンスランプが点灯したら、メンテナンスボックスを交換してください。

注意

インクが皮膚についてしまったり、目に入ったりしたときは、すぐに水で洗い流してください。

重要

- 取り外して長期間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。内部のインクが固化し、インクの吸収ができません。
- 印刷中はメンテナンスボックスを交換しないでください。廃インクが漏れることがあります。
- メンテナンスボックスの基板（IC チップ）に触らないでください。正常な動作や印刷ができなくなるおそれがあります。

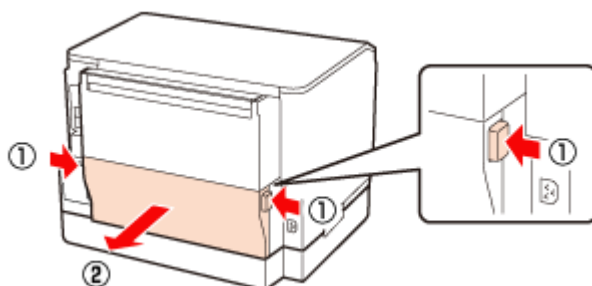
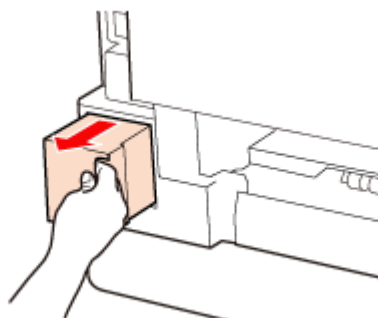
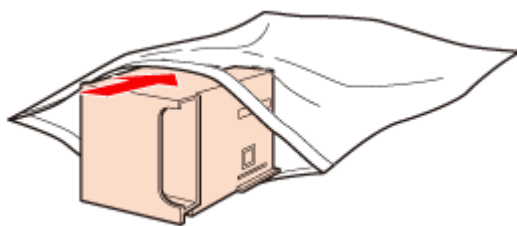
参考

メンテナンスボックスの空き容量は、プリンタードライバーのユーティリティー画面で確認できます。

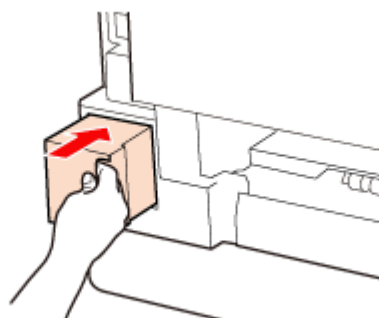
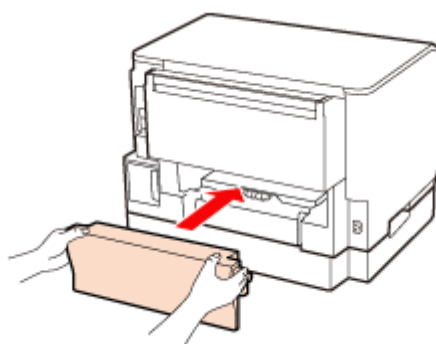
➡ 『ユーザーズガイド（本編）』-「メンテナンス」-「プリンターの状態（インク残量 / エラーなど）確認」

1. **電源を切ります。**
2. **新しいメンテナンスボックス（型番：PXBMB2）を箱から取り出します。**

   使用済みメンテナンスボックスを入れるための透明袋が添付されています。

3. **背面ユニットの左右のボタンを押して、背面ユニットを取り外します。**

4. **使用済みメンテナンスボックスを引き出します。**

5. **使用済みメンテナンスボックスを透明袋に入れて密封します。**

重要

メンテナンスボックスは密封するまで傾けないでください。インクが漏れることがあります。

6. **保護材を取り外した新しいメンテナンスボックスをセットします。**

7. **背面ユニットを取り付けます。**

8. **電源を入れます。**

以上で終了です。

使用済みメンテナンスボックスは、「引取回収サービス」をご利用ください。回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。
➡ http://www.epson.jp/recycle/

内部のクリーニング

印刷物に汚れやこすれがあるときや、用紙が正しく給紙されないときは、製品内部（ローラー）をクリーニングしてください。

1. A4 サイズの普通紙（コピー用紙など）をセットします。
2. 【給排紙】を押して通紙（給紙 / 排紙）します。
3. 用紙にインクの汚れが付かなくなるまで、手順 1 と 2 を繰り返します。

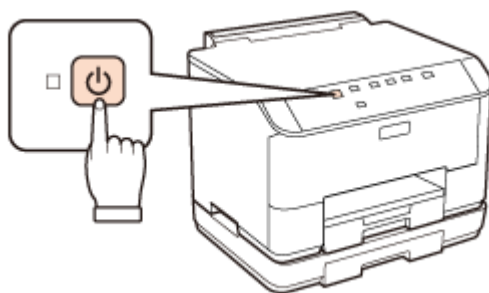
重要

製品内部は、布やティッシュペーパーなどで拭かないでください。繊維くずなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

輸送方法

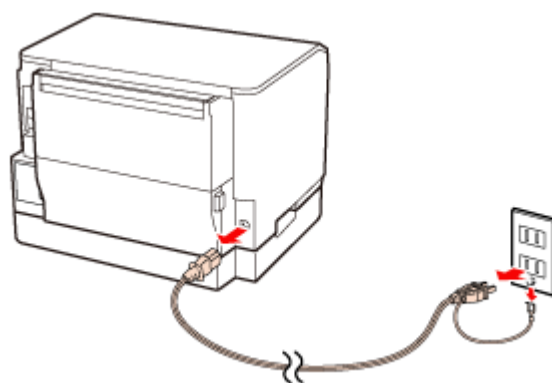
輸送の前に以下の作業を行ってください。

1. 【電源】を押し、電源を切ります。

プリントヘッドが右側のホームポジション（待機位置）に移動し、固定されます。

重要

- インクカートリッジとメンテナンスボックスは取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- プリントヘッドの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、プリントヘッドがホームポジションに移動せず、固定できません。もう一度電源を入れて、【電源】を押して電源を切ってください。

2. 用紙カセットから用紙を取り除きます。
3. 電源コードを本体から取り外します。

USB ケーブルや LAN ケーブルも全て取り外してください。

4. 増設カセットユニットを取り外します。

5. 保護材を取り付け、本製品を水平にして梱包箱に入れます。

重要

保護材の取り付け時や輸送時には、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。

以上で終了です。

輸送後は保護材を取り外してからお使いください。
輸送後の印刷不良が発生したときは、プリントヘッドをクリーニングしてみてください。
➡「ノズルチェックとヘッドクリーニング」22 ページ

困ったときは

詰まった用紙の取り除き方や、きれいに印刷できない、給排紙できないなどの対処法を説明します。

パソコンからの印刷や操作で困ったときは、『ユーザーズガイド（本編）』-「トラブル解決」をご覧ください。

詰まった用紙の取り除き方

用紙が詰まっている（紙片がちぎれて残っている）箇所を順番に確認して取り除いてください。

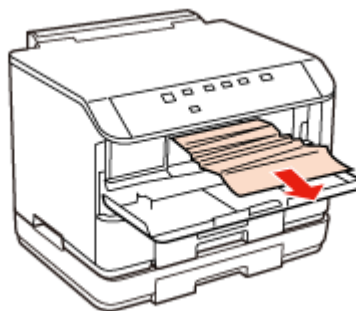
注意

製品内部に手を入れて用紙を取り出すときは、プリンター本体のボタンには触らないでください。また、突起などでけがをしないように注意してください。

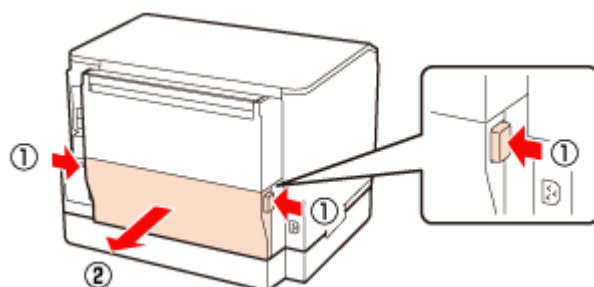
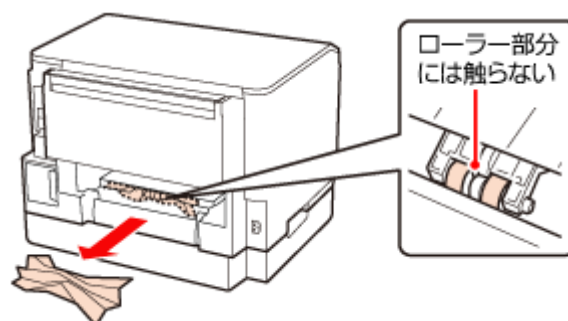
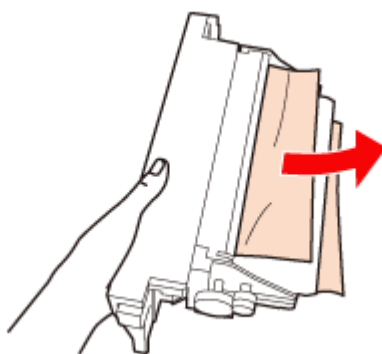
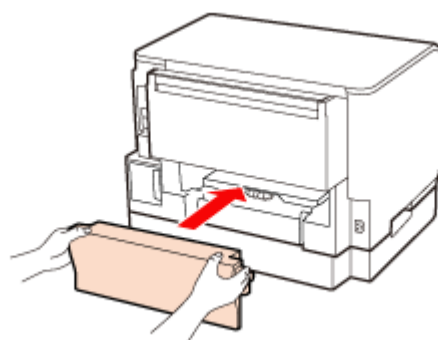
重要

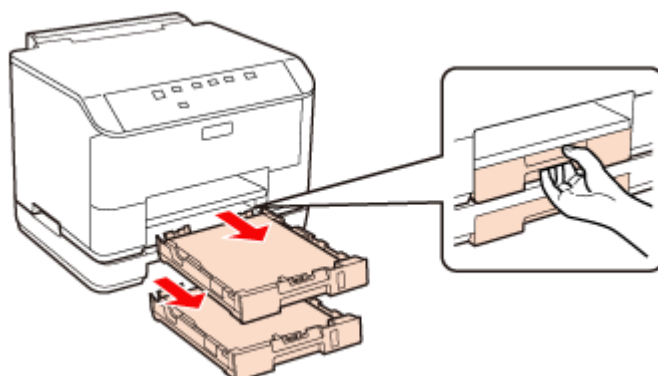
用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張ると、本製品が故障することがあります。

内部を確認

1. 前面カバーを開けます。
2. 用紙をゆっくりと引き抜きます。

3. 前面カバーを閉じます。

背面を確認

1. 背面ユニットの左右のボタンを押して、背面ユニットを取り外します。

2. プリンターの内部を確認して、用紙があれば取り除きます。

3. 背面ユニット内に用紙があれば取り除きます。

4. 全て取り除いたら、背面ユニットを取り付けます。

用紙カセット部を確認

1. 用紙カセットを引き抜きます。

2. 詰まった用紙を引き抜きます。

3. 全て取り除いたら、用紙カセットをゆっくりセットします。

以上で終了です。

トラブルへの対処

電源 / 操作パネル

現象	対処方法
電源が入らない 電源ランプが消灯したまま	•【電源】を少し長めに押してください。 •電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。また、壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。

現象	対処方法
電源が切れない	【電源】を少し長めに押してください。それでも切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため、その後に電源を入れ直し、【電源】で切ってください。

給紙 / 排紙

現象	対処方法
斜めに給紙される 重なって給紙される 給紙されない 排紙されてしまう	• 用紙は正しくセットしてください。用紙ガイドは用紙サイズに合わせてください。 ➡ 「用紙のセット方法」11 ページ • 印刷できる用紙をお使いください。 ➡ 「印刷できる用紙」8 ページ • 水平な場所に設置されているか、使用環境に問題がないかを確認してください。 ➡ 「総合仕様」37 ページ • 内部のローラーが汚れている可能性があります。 製品内部（ローラー）をクリーニングしてください。 ➡ 「内部のクリーニング」25 ページ • オプションの増設カセットユニットを使用しているときは、プリンタードライバーのプリンター設定画面に［用紙カセット 2］が表示されているかを確認してください。 ➡ 『ユーザーズガイド（本編）』-「印刷」-「プリンターの設定」 ［用紙カセット 2］が表示されていない場合は、増設カセットユニットを取り付け直してください。 ➡ 「増設カセットユニット（オプション）の取り付け」16 ページ
用紙が詰まった	用紙を取り除いてください。 ➡ 「詰まった用紙の取り除き方」28 ページ
印刷を開始しても何も印刷されない プリンターが動作しない	カセットが正しく取り付けられているかを確認してください。 プリンター本体のステータス情報は、［プリンター設定］画面から印刷して確認できます。 ➡ 『ユーザーズガイド（本編）』-「印刷」-「プリンターの設定」

その他のトラブル

現象	対処方法
約 30 分以上連続して印刷をしている途中で、印刷速度が遅くなった	高温による製品内部の損傷を防ぐための機能が働いたため、速度を下げて印刷しています（印刷は継続できます）。 印刷を中断し、電源を入れたまま 30 分以上放置した後は通常の速度で印刷します（電源を切って放置しても印刷速度は回復しません）。
製品に触れたときに電気を感じる（漏洩電流）	• 多数の周辺機器を接続している環境下では、本製品に触れた際に電気を感じることがあります。 • アース（接地）を取ることをお勧めします。
印刷できない 印刷品質が悪い ネットワーク設定ができない	パソコン接続時のトラブル対処方法は以下をご覧ください。 ➡ 『ユーザーズガイド（本編）』-「トラブル解決」 ➡ 『ネットワークガイド』（電子マニュアル）-「トラブル解決」

ランプの表示

本製品の状態をランプの表示（点灯や点滅）で確認できます。

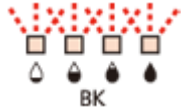
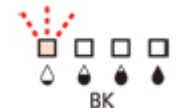
イラスト凡例	ランプの状態	
	点灯	
	点滅	（ピカーピカー）
	点滅 2	（ピカッピカッーピカッピカッー）
	高速点滅	（ピカッピカッピカッピカッ）

ローカル（USB）接続

電源ランプ	状態
点灯	印刷データ待ちの状態です。
点滅	印刷中 / インクカートリッジ交換中 / ヘッドクリーニング中 / 給排紙中 / ファームウェアのアップデート中のいずれかの状態です。
高速点滅	本製品が終了処理をしている状態です。数秒間待つと消灯します。

ネットワーク接続（正常な状態）

NW ランプ	状態
点灯	ネットワークが有効の状態です。

電源ランプ	NW ランプ	状態
点滅	点滅	ネットワークの通信中です。

NW ランプ	状態
点滅	本製品の初期化動作中です。【電源】を押すとこの状態になり、数秒待つと、消灯します。
高速点滅	ファームウェアアップデートの準備中、またはキャンセル中です。

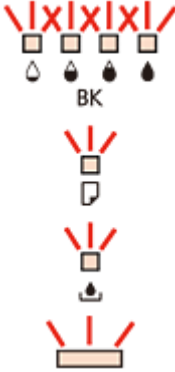
インク残量表示

インクランプ	状態
点灯 BK BK BK BK	インク残量の目安を表示します。インクが十分にあるときは全てのインクランプが点灯し、インクが減るとランプが 1 つずつ消灯します。

エラー発生時

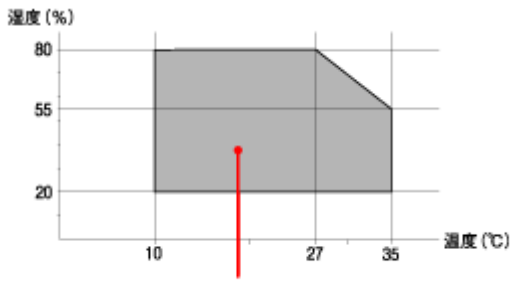
インクに関するエラー

インクランプ	状態	対処
点滅 BK	インク残量が限界値※以下になったか、インクカートリッジがセットされていません。	新しいインクカートリッジに交換してください。 ➡「インクカートリッジの交換」18 ページ
	新しいインクカートリッジをセットしても、インクカートリッジが正しく認識されていません。	インクカートリッジをセットし直してみてください。
	本製品では使用できないインクカートリッジがセットされています。	本製品で使用できるインクカートリッジをセットしてください。
点滅 BK	インクが残り少なくなりました。	新しいインクカートリッジを準備してください。

※ 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。

メンテナンスランプ	状態	対処
点灯	メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。	新しいメンテナンスボックスに交換してください。 ➡「メンテナンスボックスの交換」23 ページ
	新しいメンテナンスボックスをセットしても、メンテナンスボックスが正しく認識されていません。	メンテナンスボックスをセットし直してみてください。
点滅	メンテナンスボックスの空き容量が少なくなりました。	新しいメンテナンスボックスを準備してください。

用紙に関するエラー

用紙ランプ	状態	対処
点灯	用紙がセットされていません。または用紙が重なって給紙されています。	用紙を正しくセットして、【給排紙】を押してください。 ➡「用紙のセット方法」11 ページ
	自動両面印刷で、ドライバーで設定した用紙サイズと、プリンターにセットした用紙サイズが異なっています。	正しいサイズの用紙をプリンターにセットしてから、【給排紙】を押してください。エラーが解除され、複数ページ印刷している場合は、次の用紙から印刷が再開されます。失敗したページはやり直してください。
	用紙カセットが正しくセットされていません。	用紙カセットを正しくセットし直してください。
	プリンターにセットした用紙のサイズとプリンタードライバーの［プリンター設定］で設定されている用紙のサイズが異なっています。	［プリンター設定］で、各給紙装置にセットした用紙のサイズが正しく設定されているか確認してください。 ➡『ユーザーズガイド（本編）』-「印刷」-「プリンターの設定」
点滅	用紙が詰まりました。	以下を参照して、詰まっている用紙を取り除いてください。 ➡「詰まった用紙の取り除き方」28 ページ
点滅 2	前面カバーが開いています。	前面カバーを閉じてください。

その他のエラー

全てのランプ	状態	対処
高速点滅	プリンターエラーが発生しました。	電源を一旦切り、再度電源を入れてください。それでもエラーが解除されないときは、電源を切りプリンターカバーを開け、内部に異物（輸送用の保護テープ / 用紙など）が入っていないか確認し、電源を入れてください。

電源以外のランプ	状態	対処
点灯 BK	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。	以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1. パソコンとプリンターを USB 接続します（リカバリーモード中のアップデート作業は、ネットワーク接続ではできません）。 2．エプソンのホームページから最新版のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

付録

製品仕様とご注意

総合仕様

ノズル配列	152 ノズル× 4 列
インク色	ブラック
最高解像度	4800 ※× 1200dpi
最小ドットサイズ	3pl（ピコリットル）
インターフェイス	Hi-Speed USB / 10BASE-T / 100BASE-TX
定格電圧	AC100 ～ 240V
定格周波数	50 ～ 60Hz
定格電流	0.5 ～ 0.25A
消費電力	印刷時：約 22W （ISO/IEC 24712 印刷パターン） スリープモード時：約 2.2W 電源オフ時：約 0.3W
製品外形寸法 （単位：mm）	収納時：幅 460mm ×奥行き 420mm ×高さ 284mm　（用紙カセット収納状態） 使用時：幅 460mm ×奥行き 654mm ×高さ 383mm
製品質量	約 10.9kg（インクカートリッジ / 電源コードを含まず）
動作時の環境	温度：10 ～ 35 ℃ 湿度：20 ～ 80%（非結露） 湿度（%） 80 55 20 10 27 35 温度（℃） この範囲でお使いください。
保管時の環境	温度：－ 20 ～ 40 ℃ 湿度：5 ～ 85%（非結露）
省資源機能	両面印刷機能 / 割り付け印刷機能 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。

※　最小 1/4800 インチのドット間隔で印刷します。

インクカートリッジ型番

エプソン純正品インクカートリッジのご使用をお勧めします。
色：ブラック
型番：ICBK91M（M サイズ）/ICBK91L（L サイズ）

インクの消費

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作でインクが消費されます。
- 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

ネットワーク仕様

準拠規格	IEEE 802.3i/u
通信モード	10BASE-T/100BASE-TX 自動または固定の選択が自由
コネクター形状	RJ-45
ポート規制	Auto-MDIX 対応

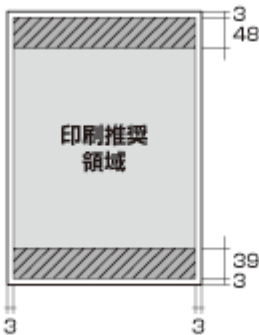
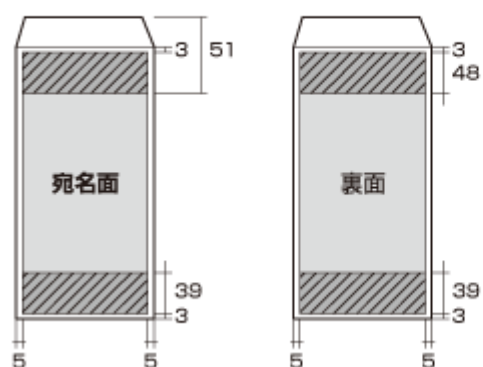
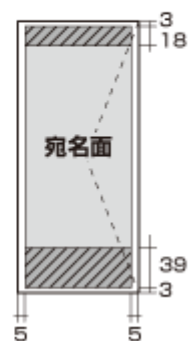
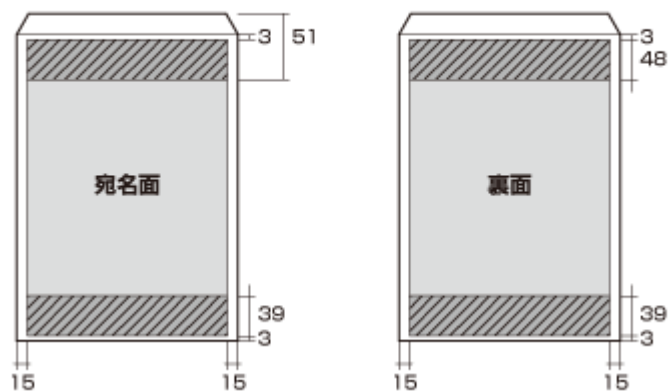
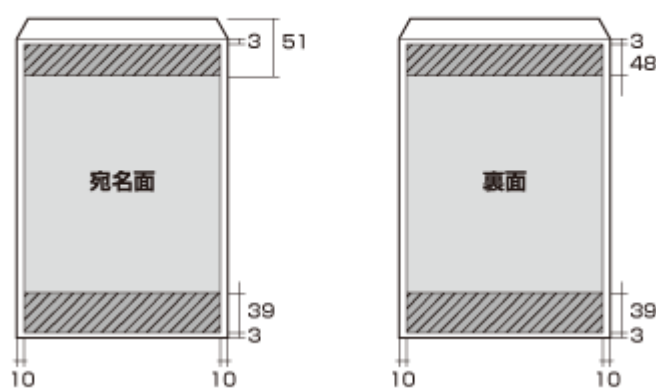
印刷領域（単位 mm）

本製品の機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

定形紙

封筒

長形3号・4号
洋形1・2・3・4号
宛名面
裏面
宛名面
3
51
3
48
3
18
39
3
5
5

角形2号
宛名面
裏面
3
51
3
48
39
3
15
15

角形20号
宛名面
裏面
3
51
3
48
39
3
10
10

規格 / 規制

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条 通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条 など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

商標

- EPSON ステータスモニタはセイコーエプソン株式会社の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

表記

- Microsoft(R) Windows(R) XP operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows Vista(R) operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 7 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 operating system 日本語版

本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」「Windows Server 2003」「Windows Server 2008」「Windows Server R2 2008」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

本書中では、Mac OS X Lion を「Mac OS X v10.7.x」と表記しています。

ご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

電源投入、遮断時のご注意

以下の状態のときは、電源を切らないでください。

- ネットワーク設定変更中
  変更した設定が保存できないため、ネットワーク接続で使えなくなることがあります。
- ネットワークで接続したパソコンからの印刷中
  印刷データ送信元のパソコンが動作不良になることがあります。
- ファームウェアの更新中
  更新が正常に行われないため、ネットワーク接続で使えなくなることがあります。

本製品の日本国外への持ち出し

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理 / 保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機 / 列車 / 船舶 / 自動車などの運行に直接関わる装 置 / 防災防犯装置 / 各種安全装置など機能 / 精度などにおいて高い信頼性 / 安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性 / 安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

プリンター本体の廃棄

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

サービス / サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス / サポートは、以下のページでご案内しています。
➡「お問い合わせ先」45 ページ

マニュアルダウンロードサービス
製品マニュアル（取扱説明書）の最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。
➡ http://www.epson.jp/support/ -「製品マニュアルダウンロード」

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。
エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディーな対応　－　スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心　－　万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単　－　エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。

- 維持費の予算化　－　エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

修理とアフターサービス

保証書

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。

これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品と消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求め頂いた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター
  ➡ 「お問い合わせ先」45 ページ

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th></th><th colspan="2">修理代金</th></tr>
<tr><th colspan="2">種類</th><th>概要</th><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代･部品代※が無償になる為予算化ができて便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。
• 修理のつど発生する修理代･部品代※が無償になるため予算化ができて便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>有償
（出張料のみ）</td><td>出張料＋技術料＋部品代
修理完了後そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込 / 送付修理</td><td>故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金＋修理代）</td></tr>
</table>

※　消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。

重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

お問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660　・東京修理センター:042-584-8070
・鳥取修理センター:0857-77-2202　・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）受付電話　050-3155-7150　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通航空で代行いたします。

＊引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのホームページでご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

＊年末年始（12/30～1/3）の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8066　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30　（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8582へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30　（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。　http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!　http://myepson.jp/　▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求め下さい。（2011年5月現在）

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（インク）2011．05